

知っところ!!!

新春号 No.140/2025/ New Year

森林組合つうしん

森だより
(140)



写真：殿田小学校5年生との環境学習（植林体験）

も	新年のあいさつ P 1	店舗（森の道具屋） 店舗からのお知らせ 他 . . . P 4
	事業1課 プランナーの新体制 他 . . . P 2	総務課 天若土地整備 他 P 5
く	事業2課	市況・大犯土表 P 6
	殿田小学校5年生環境学習 . . P 3	編集者の独り言 P 7

発行責任 日吉町森林組合

〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1

E-mail h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

Tel 0771-72-0017

Fax 0771-72-1375

森林組合WEBサイト

日吉町森林組合





新年のあいさつ



代表理事組合長 塩貝 文明

明けましておめでとうございます。組合員の皆様、ならびに関係者の皆様におかれましては、新春を晴れやかな気持ちでお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、森林組合の業務運営に際して格別の御支援を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月1日に能登半島を中心とした M7.6、最大深度7を記録した大地震が発生し、未曾有の被害をもたらしました。その後も追い打ちを掛けるかのように復興作業中の被災地を集中豪雨が襲い、河川の氾濫や山腹崩壊による土砂災害を引き起こしました。今なお避難生活を余儀なくされている方々が多くいらっしゃり、復興が一日でも早く進み、皆様が元の生活に戻れることを心より願っております。

全国的にも温暖化の影響からか異常気象や高温に悩まされましたが、幸い京都においては地震などの大きな被害もなく、平穏な一年であったように感じます。

森林林業に目を向けてみますと、国際情勢の不安定化や円安など様々な要因が複雑に絡み合い、結果、住宅着工数が伸びず住宅用建材の荷動きが非常に悪い1年となりました。こうした状況であれば、木材価格も下落していくのがこれまでの市況ではなかったかと思いますが、昨年は少し様相が異なり、木質バイオマス発電に使用する木材チップが不足し、木材市場ではチップ材が13,000円/m³まで競り上がるなど、チップ材の取引価格が高騰しました。木材価格としては一番安い価格帯のチップ材が、ある意味高止まりの状況であったため、木材の荷動きは良くなかったものの、合板材や住宅用材の価格が下がらず一定価格以上を保った状態となっていました。

ただ、国際情勢の不安定さや国内の住宅着工数の伸び悩みなどを考えると、森林組合を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあることに変わりありません。そういった状況においても、令和6年度の総代会で良い結果報告が出来るよう、職員一同懸命に業務に取り組んでおります。引き続き、組合員の皆様、ならびに関係者の皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

事業 1 課

プランナーの新体制について

事業 1 課森林プランナーに本年 1 月から新しい仲間が増えました。「近藤 慎太郎君」です。「え？近藤君？近藤君って購買の？」と思った方、正解です。購買を担当していた近藤君が 1 月から森林プランナーへ移動してきてくれました!(^^)!

皆様ご存知の通り、森林組合では平成 9 年に「日吉の森復活作戦」と題して間伐遅れ林の手入れを目的とした施業を開始し、平成 16 年頃から間伐と森林作業道を一体化して提案する「提案型集約化施業」へと進化させ、出来るだけ多くの木材売上を還元すべく今日まで施業を実施してきました。

「日吉の森復活作戦」開始からまもなく 30 年、町内のスギ・ヒノキ人工林の 54%程が植林してから 50 年～70 年経過し、70 年生以上の山も 12%以上と多く、これからは少し先（更新など）を考えた施業へと更に進めていく分岐点に差し掛かってきています。

森林整備を前に進めて行くためには、事業 1 課・森林プランナーの厚みを増す必要があります。近藤君に白羽の矢が立ったということです。

近藤君は、令和 2 年 4 月入組で今年の 3 月で 5 年が経過します。この 5 年間、購買担当として小型機械の修理・メンテナンス、田畑の獣害対策用金網や電柵の設置などを行い、皆様からも「森林組合の購買と言えば近藤君」と言っていただけの存在になってきました。これまで購買で培った経験や知識、組合員の皆様との関係性など、森林プランナーとしても大いに役立つものです。

ただ、事業 1 課に転属となりますが、獣害対策金網などの御見積りや施工、庭木の消毒などの業務は引き続き担当してもらいます。

組合員の皆様には少しご不便をお掛けすることがあるかもしれませんが、ご理解をいただき近藤君のさらなる活躍を暖かく見守っていただけますと幸いです。



雪による倒木などありませんでしょうか

1 月 10 日(金)の朝方から一気に雪が降り、あっという間に事務所の前も 10cm 以上の積雪になりました。そこまで長時間の降雪ではなかったので、それほど大きな被害はないかと考えておりますが、万一にも倒木などの被害がありましたら森林組合までご一報いただければ幸いです。

事業2課

殿田小学校・5年生との環境学習～最終回～

殿田小学校5年生との環境学習もついに最終回を迎えてしまいました。これまで教室での「環境学習」、校庭での「薪割り体験」、山の中での「間伐体験と林業機械見学」と3回行い、12月5日(木)に最終回となる「植林体験」を実施しました。

当日は、さすが『12月』という底冷えのする気温になり、現地に着いた子供たちも「うわっ、寒っ!」と言って、ちょっと震えてる子もいるほど寒い日になりました。最初の注意事項の説明も太陽の日差しが当たる場所で行いましたが、それでも震えが止まらないほど本当に寒かったです。



いよいよ山に入って植林体験!と行きたいところでしたが、斜面を歩くという事に慣れておらず、植える場所に行くまでに「うわ、怖っ」、「え、マジで、ヤバイヤバイヤバイ」、「これ落ちたら死ぬやん」と悲鳴にも似た叫び声が前から横から後ろからと飛び交っていました。仲上課長が「植え方説明するからもうちょっとそっちに行こうか。後ろの人見えへんかったら上行ったらいいで」と言うのと「え、え、動かれへんって」、「上って、そんなんムリムリムリ」と。

そんなこんなで、賑やかな植林体験が始まり、2人1組で苗と鍬を持って斜面を這い上がり「〇〇君、ここに植えよ」、「〇〇ちゃん、もうちょっと奥にしよ」と植える場所を選び、いざ開始。直ぐに斜面に適応してスタスタ登って行く子、一人



ではまったく動けない子と差が出てしまいますが「〇〇ちゃん、私が手持つといて上げるからここまで来れる?」、「ここなら立てるし、一緒に植えよ」と、前回の間伐体験同様、子供達の助け合いの精神にはホント感心させられます。

1時間と少しの時間で1班3・4本を植え、最後はいつの間にか「植林体験」から「急斜面を皆で登る体験」に変わり、全員大はしゃぎ大喜びの内に終わりました。

最後には「通学の時に前通るし、木の成長見とこ!」、「私が20歳になった時どれくらい大きくなってやるよ」、「私の夢がまた1つ増えました。大人になってこういう仕事がしたいです」と。嬉しい限りです。

十数年後一緒に現場で働ける日を楽しみに待ちたいと思います(*^_^*)



森の道具屋

今年もよろしくお願ひします

本誌2頁でも説明いたしましたように、今年の1月より近藤君が事業1課・森林プランナーへ移動しましたが、店舗はこれまで通り元気に営業してまいります。これまで近藤君が対応していた、小型機械等の修理やメンテナンスは出野参事が対応いたします。

森の道具屋もこれまでの取組やイベントに加え、組合員の皆様に喜んでいただけるような新たな取り組みを模索してまいります。組合員の皆様からのご要望などがございましたら、何なりとお申し付けください。

今後とも、森の道具屋をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



しいたけの菌打ちシーズン到来！

今年度もしいたけ菌等の販売を行います。しいたけ菌等は毎年ご好評いただいております、3月下旬頃には在庫が無くなってしまいます。

また、年々春の訪れが早くなっており、3月に入ると気温がグッと上がるようになってきました。しいたけの植菌は桜（ソメイヨシノ）が咲く頃までに完了するのが良いとされています。2月1日以降の最高気温の合計が600°Cを超えると桜が開花するという予測方法がありますが、暖くなるのが早くなると桜の開花時期も早くなるようですし、しいたけ菌以外の菌の活動も活発になります。

今までより少し早めの植菌をお勧めいたします。



薪買取ります！！

店舗・森の道具屋では、薪の買い取り販売を行っています。薪の販売量は、年間約2000から2500束となります。ここ数年、キャンプブームで薪の販売量が増加していますが、薪の生産者が減少し薪不足の状態が続いています。そこで、組合員の皆様のご自宅などで余っている薪や新たに作られた薪を買い取らせていただければと考えております。買い取りの数量は1束からでも可能ですので、まずは森林組合へご連絡ください。

総務課

天若の土地を綺麗に整備しています！

ご存知の方も多いのではないと思いますが、日吉町天若に森林組合が所有する土地があります。大堰川漁協事務所の上流側に位置するのですが、工所用資材や薪、重機、



木材の貯木場として使用しています(左上下写真)。この土地を現在綺麗に整備しています。どうしているかと言いますと、土間をコンクリート舗装に改良し、水道と電気を引き込んでいます。



これまで土と碎石だったため、梅雨時期や台風時期は地面がぬかるみ、定期的に碎石を敷均すなどの対策を講じる必要がありました。また、土と碎石なので、木材から剥がれた樹皮とその土などが混ざってしまい、樹皮を有効活用することが出来ていませんでした。今回の整備でコンクリート舗装とすることで、中断することなく年間を通じて貯木場として活用することができ、大型のトレーラーによる効率的な木材運送が可能となります。また、剥がれた樹皮も販売することが出来るなど、木材

を余すことなく有効活用できると考えております。1月末完成を目指して工事中です。



組合員の名義に変更ありませんか？

毎年のご案内で恐縮ですが、組合員の御名義に変更はございませんか。「法務局で相続登記したのに、組合からの郵送物の宛名がまだ変わっていない」「相続の手続きは組合にも必要なの？」などの問い合わせをいただく事があります。法務局で登記した情報が森林組合へ提供されることはありませんので、名義が変わられた際には、**法務局とは別に組合へも御連絡いただくよう**よろしくお願いたします。御連絡いただいた方には、名義変更手続きに必要な書類をお渡ししますので、日吉町森林組合・総務課までご連絡をお願いします。

※本人確認書類の写し(免許証・保険証等)が必要となります。予めご了承ください。

木材市況

(資料提供・北桑木材センター R7.1.8)

スギ	中目	4m×18～24 cm	¥ 14,000～16,000	依然として合板材・パルプ材・バイオマス材等については引き合いが強く高値です。
	〃	4m×24～30 cm	¥ 18,000～20,000	
	柱	3m×16～20 cm	¥ 13,000～15,000	
	〃	6m×16～20 cm	¥ 15,000～18,000	
	元木・良材	4m×24 cm上	¥ 25,000～30,000	
ヒノキ	中目	4m×18～24 cm	¥ 18,000～20,000	
	〃	4m×24～30 cm	¥ 22,000～24,000	
	柱	3m×16～20 cm	¥ 13,000～15,000	
	〃	6m×16～20 cm	¥ 18,000～20,000	
	土台	4m×14～16 cm	¥ 13,000～14,000	

新春号恒例「2025 年大犯土表」

月	大つち	小つち	土用	木の採れる日
1	1～7	9～15	17～31	～
2			1～2	3～28
3	2～8	10～16		17～31
4			17～30	1～16
5	1～7	9～15	1～4	16～31
6	30～			1～29
7	1～6	8～14	19～31	15～18
8	29～31		1～6	7～28
9	1～4	6～12		13～30
10	28～31		20～31	1～19
11	1～3	5～11	1～6	12～30
12	27～31			1～26

「大つち」、「小つち」、「土用」の各日は、土を司るといわれる土公神が土の中にいるため、土をいじると災いが起きる期間とされています。

昔から「大つち、小つち、土用」の期間に木を伐ると、虫が入り腐りやすくなると云われ、それ以外の日に伐れば虫が入り難く、腐り難いと云われています。

例えば、家の裏の竹を伐る時、伐った竹はその場で早く腐らせたいと思えば「大つち、小つち、土用」の期間に伐る。逆に、伐った竹を使いたいと思えば「木の伐れる日」に伐るというような感じです。昔から生活のあらゆる場面で木材を使ってきた、日本人ならではの考え方ではないでしょうか。是非参考にしてみてください。

編

集

者

の

独

り

言

明けましておめでとうございます。今年も組合員の皆様に、森林・林業の状況や組合活動状況などをお届けしてまいりますので、森林だより「知っとこ!!森林組合つうしん」をどうぞよろしく願いいたします。

先日、ネットニュースを見ていると気になる記事が目にとまりました。何かとありますと「薪ストーブによるご近所トラブル増加」というものです。薪ストーブの何がご近所とのトラブルを引き起こしているのかと見てみると、それは「煙」でした。神奈川県・葉山町や千葉県・船橋市などでは議会で取り上げられるほどの騒動になっていて、「煙の臭いがひどい」というものだそうです。

組合事務所にも薪ストーブがありますし、薪用原木をご注文いただくお客様も年々増えています。温暖化といわれるものの、冬の暖房器具は欠かせませんし、薪ストーブは電気や灯油などの暖かさとは違う暖かさ・温もりがあります。

そんな薪ストーブが悪者扱いされるのも困りますし、使っている方、薪ストーブがある家のご近所の方双方が快適に過ごせることが大切です。

そこで、可能な限り「臭い煙」を出さないようにするポイントを、日本暖炉ストーブ協会が作成した資料を基に簡単ではありますが説明いたします。

- 1：薪を十分乾燥させる（含水率は20%以下に）
- 2：すばやく適温まであげる（鋳物製であれば着火から30~45分を目安）
低温の状態が長く続くと強い臭いを多く発してしまいます
- 3：適時、適量の薪を追加する（炉内に薪を詰め込み過ぎない）
- 4：適量の空気を入れる（薪を長持ちさせるためと給気量を絞すぎない）
- 5：塗料や防腐剤などの添加物が含まれた木材は燃やさない

以上の内容は簡単にまとめたものですが「日本暖炉ストーブ協会」のホームページに詳細が掲載されておりますので参考にしてください。

どんなモノを使うにしろ、正しい知識をもって使用し、誰にも迷惑を掛けず自分も快適に使えるようになるのが一番で、身体にも心にも温もりのある穏やかな1年を今年も過ごせればと思います。

今年もよろしく願いいたします。

編集者：小林